



みんなでバスに絵を描こう！



いよいよ来年春にオープンする「十和田市現代美術館」。開館前イベントとして、バスの車体をキャンバスにして、絵を描くイベントを行います。

参加対象 高校生以上（2名以上のグループ参加）

テーマ：「INSECT（昆虫）」 トンボ、ハチ、アリ、カマキリ、バッタ、^{こうちゅう}甲虫（クワガタやカブトムシ、カナブンなど）
の中から中心となる虫を決めて、その虫を主体とした絵

とき 9月15日(土) 午前9時30分～午後4時（予備日16日・17日）

ところ 十和田市中央駐車場（中央公民館東側）

応募方法 デザイン案を次へ郵送または持参してください。A4判（横）で様式は自由。裏に、代表者の氏名・年齢・住所・電話番号・参加人数を記入してください。

また、特設ホームページで募集を受け付けします。（<http://towadaart.project.com>）

〒034-8615（住所記載不要）企画調整課「アートバス」係あて

応募締め切り 8月20日

※応募者のなかから5チーム程度を選抜し、当日バスに描いてもらいます。

画材などは市で準備します。作業スペースは、十和田市現代美術館出品作家でもある^{つばきのぼる}椿昇さんが事前に割り付けをします。

※参加者には記念品があります。なお、応募作品はすべて随時特設ホームページで公開し、ホームページは8月上旬に開設します。

申し込み先 企画調整課

（☎23 5111 内線 162、FAX 24 9616）

★アートチャンネルトワダ vol.6「商店街フラッグアート・プロジェクト」
当日参加大歓迎。（詳しくは広報とわだ6月号をご覧ください。）



椿昇さん



絵を描くバス（イメージ）

芸術文化ゾーンだより ⑪ ～現代美術館の作品の特徴～

市で整備を進めている野外芸術文化ゾーンについての話題を紹介しています。

8月から十和田市現代美術館の「アート工事」が始まります。本格的な作品設置は来年の1・2月ごろですが、それまでは、各作家がアトリエなどで作品を制作しています。

本美術館の作品群には1つの特徴があります。青森県立美術館に行ったことがあるかたは分かると思いますが、地下の大ホールに、奈良美智氏制作の「あおり犬」がそびえています。これは、県立美術館のために奈良さんがオーダーメイドで制作したもので、ほかの美術作品と違い、県立美術館以外の場所に持って行くことはできません。当館の場合、展示作品はすべてこのような受注製作の形で制作されます。これを「コミッションワーク」といいます。

また、「あおり犬」のような大型彫刻作品ばかりでなく、現代アート界で流行しているのが「インスタレーション」と呼ばれる、空間全体を作品化する手法です。こうなると、絵画や彫刻と違い、その場所のために作るしかありません。当館にも、このようなインスタレーション作品がいろいろあります。

広報とわだ7月号で紹介した金沢21世紀美術館や直島コンテンポラリーアートミュージアムにも、内外の有名

作家によるコミッションワークがあります。しかしながら、全館コミッションワークで構成される美術館は、国内でもあまり例が無く、現代アート界でも注目を集めています。

来月からは、いよいよ美術館に展示する作品を紹介していきます。

問い合わせ先 企画調整課（☎235111内線162）



市現代美術館の現場を確認する作家
（トマス・サラセーノさん）